

表現の森へようこそ。*

森では、植物や生き物がお互いを求めて生きています。この森はあなたの住んでいるところとよく似ていて、さまざまな“表現”や“仲間”と出会えます。

どんな出来事が起こっているのか、または起ころうとしているのか——まだ、誰にもわかりません。

「表現の森 協働としてのアート」では、8つのプロジェクトを紹介します。そのうち5つのプロジェクトは、この森のどこかでこの会期の前後も継続的に行われています。表現の森は、これらのプロジェクトのため、学習、話し合い、リハーサル、経過報告、発表、展示のための場です。

あなたは未知の世界に入っていくことで緊張しているかもしれません。ぜひ好奇心をもって、この森へ入ってみてください。自分がよく知っていることも、まったく想像もできないこともあるでしょう。この森で出会うアーティストたちと共に探検し、たっぷりと太陽の光を浴びて、澄んだ水を飲み、私たちはこの森の木々や住人と共に、時間をかけて成長していくのです。

始まったばかりのアーツ前橋の新たな試みをぜひ一緒に体験してみませんか。この夏、アーツ前橋に誕生する表現の森で会いましょう。

1 いざ、森へ。森の案内所。

中島佑太 × 南橋団地

最初に訪れるのは森の案内所です。

ここでは、皆さんに旅の提案をします。行き先は、森の中の団地。団地の中には、さまざまな異なる人が住んでいます。夕方、それぞれの家から漂う香りから、晩ご飯を想像してみたり、団地の中に隠された作品を探したり——この旅に参加すれば、あなたも表現の森の住人の仲間入りです。

2 森のシャーマンたち。 リズムと共に立ち現れる記憶。

石坂亥士・山賀さくろ
ディサービスセンターえいめい

あなたはシャーマン(呪術師)を知っていますか?

彼らは異国の太鼓を鳴らし、森の精霊たちと対話を始めます。太鼓を叩くその手には、90年の年輪を刻み、立ち上がる声は、過去の記憶を呼び覚ますのです。みなさんもシャーマンたちと一緒に演奏してみませんか?

3 森で詩人になってみる。 釜ヶ崎芸術大学

森の静寂の中、中央の切り株に座るのは詩人の上田信奈代と釜ヶ崎芸術大学のおっちゃんたち。ここは、誰も知らない詩人サロンです。彼らの日常を書にして詩を書いています。あなたも、毎日のさりげない気持ちや出来事を、言葉にしてみることで、普段は気がつかない心の変化を感じるかもしれません。

4 森の美術館。 表現の芽をみつけるには。 たんぽぽの家

たんぽぽの家の伊藤樹里は、毎日欠かさず自分や友人たちが飲む裏の殻を一つ一つ集めています。中川雅仁は、来る日も来る日も空想の時刻表をつくり、脳内旅行にでるのであります。二人の行為におもしろさを見い出したのは、たんぽぽの家のスタッフたちでした。私たちの日常が作品になる瞬間を、たんぽぽの仲間たちと一緒に考えてみませんか。

5 森の学校。「いま、ここ」に集まり、学ぶ。

Port B × あかつきの村

森の中に一人の神父さまが始めた、あかつきの村。ここには、いろいろな土地から人々がつどい、廃品回収をして暮らしています。ベトナムから海を渡ったかつての難民たち、スペインや九州からたどり着いた人たち。高山明 / Port B は、このつどいに加わり、ここから学びを得るプロセスを、まちに開いていきます。



関連イベント

「表現の森 協働としてのアート」展関連シンポジウム

日 時：8月1日～8月27日（土）13時～18時

2日目：8月28日（日）11時～17時

会 場：アーツ前橋 ギャラリー2

講 師：本展委加作家ほか

参加費：無料（要顔写真）

定 員：50名（先着）

申込方法：事前申込制／お電話にてお申し込みください。

Port B 関連フォーラム

日 時：7月23日（土）、7月30日（土）、8月13日（土）

9月3日（土）いずれも15時～18時

会 場：アーツ前橋 地下ギャラリー

アーティスト：中島佑太

参加費：無料（要顔写真）

申込方法：お電話、またはアーツ前橋 地下ギャラリーにて直接お申し込みください。

6 森の異国。

Art for Peace × ケニアの子どもたち

森の中には様々な国籍の人々が住んでいます。

ここでは、瀬谷ルミ子が、ケニアの子どもたちの心の回復のための表現活動“Art for Peace”を行っています。紛争など国の大きな流れの中で、希望が見えない状況の子どもたちの力強い表現は、私たちへの平和のメッセージです。

7 19年後の森の未来へ。

廣瀬智央・後藤朋美 ×
のぞみの家（母子生活支援施設）

あなたは19年後のこの森を想像することができますか？

廣瀬智央と後藤朋美、そしてのぞみの家の仲間たちは、皆で書いた手紙や写真、作品をタイムカプセルに入れ、この森に埋めます。このタイムカプセルは、19年後に掘り起こされることを夢見て、土の中で眠り続けるのです。その長い月日の間に、表現の森はどんな森になっているのでしょうか。

8 森の居場所。

滝沢達史 × アリスの広場

この森にはいろいろな時間が隠れています。

部屋や話し声、卓球やマンガからよくわからないものまで…。不登校の人たちのためのフリースペースアリスの広場と滝沢達史が、そこに流れる緩やかな時間を散りばめます。楽しいことも、辛いことも、ポン、ポン、ポンと卓球を打ち合えば、心の対話が始まるかもしれません。あなたにとって居心地のいい場所とは、どんなところですか？

関連ツアーアー

シニアルツアー

日 時：8月11日（木・祝）14時～15時

内 容：作品を見て感動したことや感じたことを話しながら鑑賞します。（お茶付き）

講 師：林 容子（一般社団法人アーツアライブ）

定 員：10人（先着）

対 象：75歳以上の方とその付添人。認定症等、障害をお持ちの方もご参加いただけます。

参加費：無料（要顔写真）

申込方法：事前申込制／お電話にてお申し込みください。

学芸員によるギャラリーツアー

日 時：8月6日（土）、9月17日（土）

14時50分～15時50分

参 加 費：無料（要顔写真）

*両日とも14時より「コレクション+J底のキャラツア」を開催

こどもアート探検

日 時：8月20日（土）14時～15時

内 容：鑑賞サポーターと一緒に作品を見て話しながら鑑賞します。

講 師：アーツ前橋 鑑賞サポーター

対 象：小学生以下

参 加 費：無料（申込不要）